

(注)本サンプルの記載内容は事実とは関係ありません。

A国
廃棄物発電プロジェクトに係る
招へい計画

ABC株式会社

目次

1. プロジェクトの概要
2. プロジェクトの背景・経緯（当該国のニーズ）
3. プロジェクトの内容・地図及び資金計画
4. プロジェクトのスケジュール・進捗状況、公表・公開状況
5. 受注を目指す内容/技術仕様等
6. ビジネス・スキーム図、ファイナンススキーム図
7. 当該技術の優位性・納入実績
8. 当該技術等の競合状況
9. 相手国関係機関・キーパーソン
10. 本事業プログラム案
（スケジュール・提案企業事業実施体制）
11. 本事業後の活動予定及び将来のビジネスモデル

1 プロジェクトの概要

(1)プロジェクト名	○A国 廃棄物発電案件
(2)国／地域(都市)	○A国／B都市
(3)分野(事業形態)	○廃棄物発電
(4)プロジェクト主体	○A国エネルギー省、A国工業団地省、民間事業者
(5)プロジェクト内容及び 公表状況	○…… ○当該プロジェクトは現地にて公表済み
(6)プロジェクト総額及び 資金計画	○……億円 ○……
(7)受注を目指す内容 及びその金額	○上記プロジェクトに関して、当社と丙社が協力して、…… ○……億円
(8)協力企業	○……社及び……社(他に……社等の参加も見込まれる)
(9)招聘/招へい 実施希望時期及び実施目的	○招へい(2017年…月頃を希望) ○……を目的とする。
(10)過年度事業又は 関連事業の実施状況等	○平成…年度より本件事業計画策定開始 ○本年度経済産業省「……事業」に応募中
(11)日本政府関係省庁等 との相談・協議状況	○経産省…課、環境省…課と相談中

2 プロジェクトの背景・経緯（当該国のニーズ）

A国エネルギー省

◆ 「FIT(固定価格買取制度)導入計画」

>>>●(現地通貨)／●IWhでのFIT制度導入を計画中

A国工業団地省

◆ 「廃棄物発電計画」

>>>C工業団地での廃棄物発電計画を策定中

* 注釈 *

「プロジェクトの背景・経緯」
⇒プロジェクトの背景・経緯について、対象国政府における開発計画上の位置づけ、プロジェクト形成に関わる相手国政府や関連団体などのそれぞれの役割などについても、図などを使って分かりやすく示して下さい。

当社

◆ 事業投資、事業運営の機会拡大

>>>廃棄物の収集システムからファイナンス、建設・運営・維持管理
まで一体的な事業の実施が可能

日本式のシステム・製品・技術・ノウハウをPRLし、日本式廃棄物発電システムの導入を目指す

3 プロジェクトの内容・地図及び資金計画

プロジェクト内容

[ABC株式会社]
○B都市のC工業団地にて新
規廃棄物発電システムの導入
○.....

(技術詳細後記参照)

A国 地図



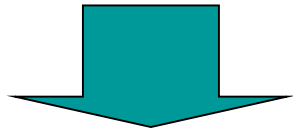
事業資金の計画・見込み等

▽事業資金は(ほぼ全額について)
自己資金あるいは●%のプロジェクト
ファイナンスを想定。
▽環境省の二国間クレジット制度
(JCM)を活用する可能性もある。

4 プロジェクトのスケジュール・進捗状況、公表・公開状況

◆廃棄物発電計画の進捗状況等

A国工業団地省は「C工業地帯において廃棄物発電システムを2025年までに完備する」と発表。
またFIT制度は2020年を目処に導入する計画。



2017年	招へい
2018年	事業計画（資金計画を含む）検討・決定
2020年	契約
2021年～	建設
2023年頃	完工・運営開始

2017年度に相手国エネルギー省、工業団地省、民間事業者より意思決定者を日本に招へいし、日本式システムの優れている点を理解してもらい、受注に繋げたい。

*** 注釈 ***
「プロジェクトの進捗状況」
●FS調査の実施の有無、相手国での予算化や入札、着工の予定時期などについて、(分かる範囲で)具体的なスケジュールを記載して下さい。
●招へい事業を実施する時期が、プロジェクト進捗のどの時期に当たるのか(どこの段階で実施したいのか)を示して下さい。

5 受注を目指す内容/技術仕様等

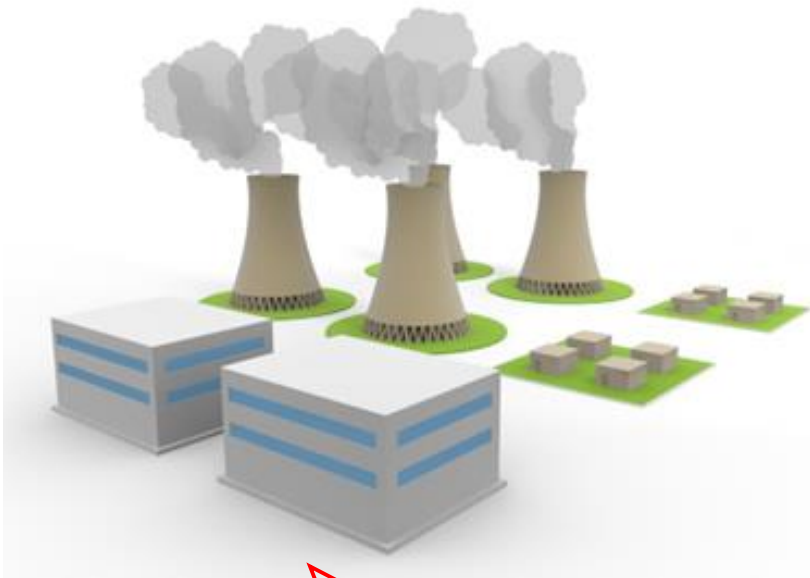
◆ABC 廃棄物発電システム

システム・製品の仕様

●●方式

廃棄物処理量: ●●トン/基

発電規模:



製品の写真等

* 注釈 *

「技術仕様等」

●当該案件のコアとなる製品・技術などについて、写真や図などを入れて、分かりやすく示して下さい。

7 当該技術の優位性・納入実績

◆当該技術の優位性・納入実績

- ▼システムでの事業提案が可能
- ▼廃棄物処理量は…
- ▼発電効率では……
- ▼
- ▼

- …国…廃棄物プラント(……年)
- …国…廃棄物プラント(……年)

8 当該技術等の競合関係

◆廃棄物発電

	A社 (仏)	B社 (独)	C社 (韓)	D社 (中)	E社 (日)	当社
都市型システム(…式)						
都市型システム(…式)						
都市型システム()						
都市型システム()						

◆優位性比較

	A社 (仏)	B社 (独)	C社 (韓)	D社 (中)	E社 (日)	当社
システム概要						
廃棄物収集・分別・リサイクル						
廃棄物処理量						
発電効率						
初期投資+維持費						

9 相手国関係機関・キーパーソン

◆プロジェクト関係機関及び被招へい対象者

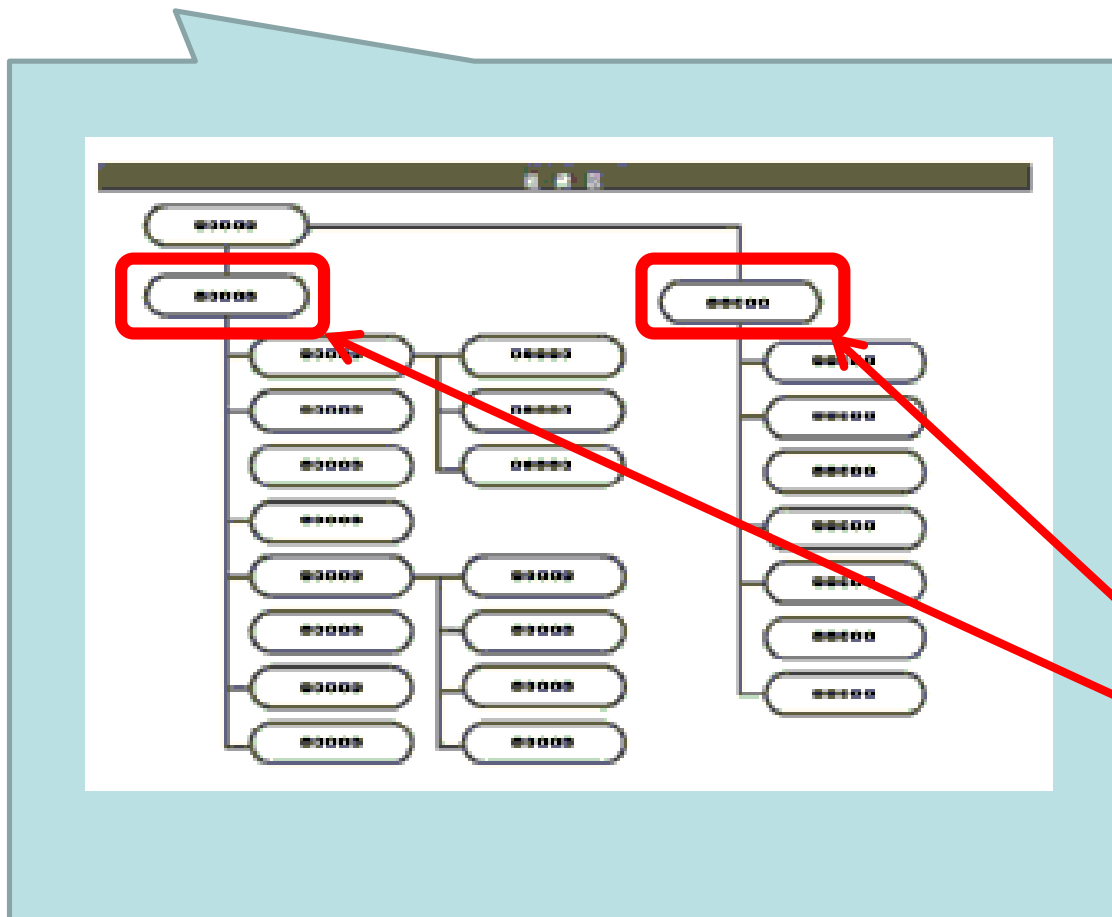
工業団地省

エネルギー省

民間事業者

* 注釈 *

- 当該プロジェクトの関係機関を組織図等を使ってご説明ください。
- プロジェクト関係機関(者)のうち、被招へい対象者はどこ(誰)になるのかをお示しください。



C 工業団地の承認に対して
意思決定を行う担当局長

10 本事業のプログラム案

◆招へいスケジュール案

●月頃にA国エネルギー省と工業団地省の局長等、民間事業会社幹部等を対象とした招へいを実施。

	午前(9:30~12:30)	午後(13:30~16:30)
1日目(木)	来日	オリエンテーリング
2日目(金)	廃棄物の収集・分別・リサイクルに関する勉強会	廃棄物発電に関する勉強会
3日目(土)	...	
4日目(日)	...	
5日目(月)	経産省との意見交換会	移動
6日目(火)	廃棄物発電所視察	
7日目(水)	ラップアップミーティング	帰国

*** 注釈 ***
「プログラム案」
●案件獲得のためにどのような現地活動内容であれば日本の強みを示せるのか、r招へいプログラムのアイデアをお示してください。
●訴求対象者や実施時期についてもご説明ください。

◆提案企業の招へい事業実施体制

国内：事業担当者
経理担当者

海外：プロジェクト当該国における提案企業の拠点
事業実績
事業担当者
経理担当者

1 1 本事業後の活動予定及び将来的なビジネスモデル

(本事業後の活動予定)

- 本招へい事業終了後は、引き続き当該技術の優れている点について理解を得るために、日本政府関係機関の支援を得て、現地プロジェクト関係者への説明を継続する予定。
- また、事業資金組成に協力するため環境省等への案件説明を積極的に実施する予定。

(受注目標)

- 本プロジェクトでは丙社と協力し、総額●●億円の受注を目指す。

(将来的なビジネスモデル)

- 受注後は、現地企業と業務提携し、運営管理についても日本式が採用されることを目指す。

(年間 …円 × 10年契約 = ……円)

* 注釈 *
「将来的なビジネスモデル」
●プロジェクト受注後、当該国で
どんなビジネスを展開していき
たいかを示して下さい。

<注意事項>

- 上記の記載例（Sample）を参照して、各案件に応じて適宜適切に資料作成して下さい。
- 資料作成にあたっては、以下の事項については必ず記載して下さい。
 - ①プロジェクトに係る案件名、対象国・都市、事業総額・資金計画、協力企業等名・協力内容、日本政府等との協議状況、等
 - ②プロジェクトの背景・経緯（当該国のニーズ）
 - ③プロジェクトの内容・地図及び資金計画
 - ④プロジェクトのスケジュール・進捗状況、公表・公開状況
 - ⑤受注を目指す内容/技術仕様等
 - ⑥ビジネス・スキーム図、ファイナンススキーム図
 - ⑦当該技術の優位性・納入実績
 - ⑧当該技術等の競合状況
 - ⑨相手国関係機関・キーパーソン
 - ⑩本事業プログラム案（スケジュール・提案企業事業実施体制）
 - ⑪本事業後の活動予定及び将来のビジネスモデル